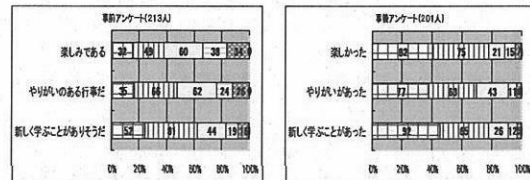


## リスク回避とは・・・

- 流動化する雇用環境を生き抜くために
- 働く権利（非正規雇用も含めて）を知る
- 先輩のライフヒストリーから学ぶ  
さまざまな働き方とリスク  
乗り越えるスキル（言説資源など）  
友人と仕事について語り合える関係

## 成果を何で測るか

職場見学体験2007年度

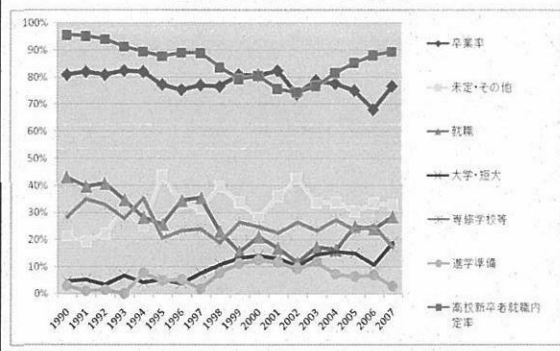


- 行事ごとの事前事後アンケートの活用  
→ 個々の行事について検討するには有効

## トータルな効果は数字では測れない

- 他の教育活動と連動しており、キャリア教育単独の効果は測るのは難しい
- フリーター率は、雇用側の要因が圧倒的  
フリーターは若者の意識の問題である以上に、非正規雇用を増加させてきた雇用側の要因が大きい。その解決を教育が担うのは、無理がある。フリーター率は教育効果よりも雇用動向を反映する可能性大。

## 進路状況の変化



## 質的なデータの積み重ね

— 体験を意味づけ育てる

### Aさんの事例から

- 1年前期一教室に入らずに廊下にいる 「やめる」
- 夏休みに職場見学体験で地域の事業所へ  
遅刻 → 実習へ 素晴らしい姿勢 励まし  
（出会い・体験）
- 体験の意味を三者面談の対話の中で構築  
「この分野の仕事をしたい」 → 「卒業したい」  
（気づき・自信）
- 情報（2年）の授業で  
（意味の構築）

## 卒業率はひとつのめやすに・・・

学校全体の実践の結果として

- 高校卒業資格は、キャリアの出発点  
高校中退は、キャリア選択の幅を狭める
- 卒業率と「未定・その他」一負の相関関係  
進路について気持ちが定まると卒業へ結び付きやすい？